

別添 10 Rev.16-01

ダミヤンの情報について

○ここでは以下の点について記載する

- ・ダミヤンとは
- ・ダミヤンの構成
- ・ダミヤンの寸法と材質

別添 10 は本ページを含め、全 9 ページです。

## 1. ダミヤンとは

ダミヤンとは被災地に取り残された要救助者を模したダミー人形の通称である。ダミヤンは要救助者を模するため、以下の特徴を持つ。

- ・ 痛さや不快感の検知
- ・ 個体識別情報

ダミヤンにはセンサーが搭載されており、痛さや不快感に相当する物理量を測定することでフィジカルポイント（センサーモード）の計算を行う。また、ダミヤンには個体識別情報が付与されている。実際のレスキュー現場では、トリアージが重要視されている。トリアージとは、負傷者の重症度や緊急度を識別し、治療や搬送の優先度を定めることである。そこで、レスキューロボットコンテストでは、ロボットが救助活動する過程でダミヤンの個体識別情報を識別することとする。個体識別情報の詳細については別添を参照のこととする。

ダミヤンは要救助者を模した人形である。そのため、実際のレスキュー活場を想定し、フィロソフィーに沿った救助を行うことが求められる。

## 2. ダミヤンの構成

ダミヤンは以下の通りに構成される。

- 頭：要救助者の頭を模倣
- 首：要救助者の首を模倣
- 胴体：要救助者の胴体を模倣
- 手足：要救助者の手足を模倣
- センサー：ダミヤンへの痛さや不快感を検知
- 通信機器：センサーが検知した情報を PC へ送信

頭や首、胴体、手足は要救助者を模している。そのため、ロボットが頭などに接触する場合は、フィロソフィーに沿って行うことが求められる。頭などの寸法や材質については次章で説明する。

## 2. ダミヤンの寸法と材質

### 2.1 大ダミヤンの寸法

ダミヤンには大ダミヤンと小ダミヤンがある。本項では大ダミヤンの寸法について説明する。以下に大ダミヤンの寸法を示す。（手作業で製作するため数 mm 程度の誤差はあるが，大幅なサイズ変更は行わないものとする。）

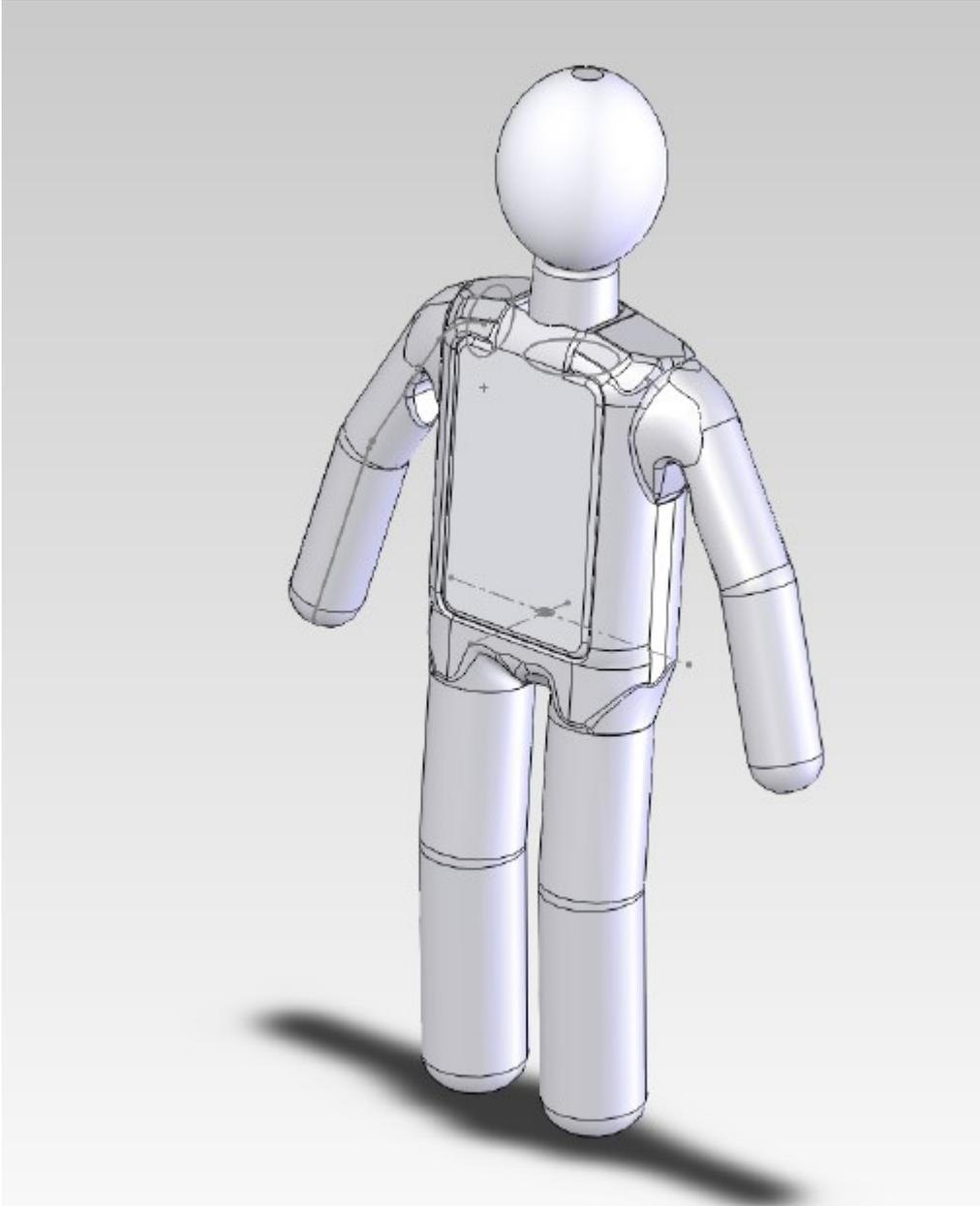


図 2.1 ダミヤン大投影図

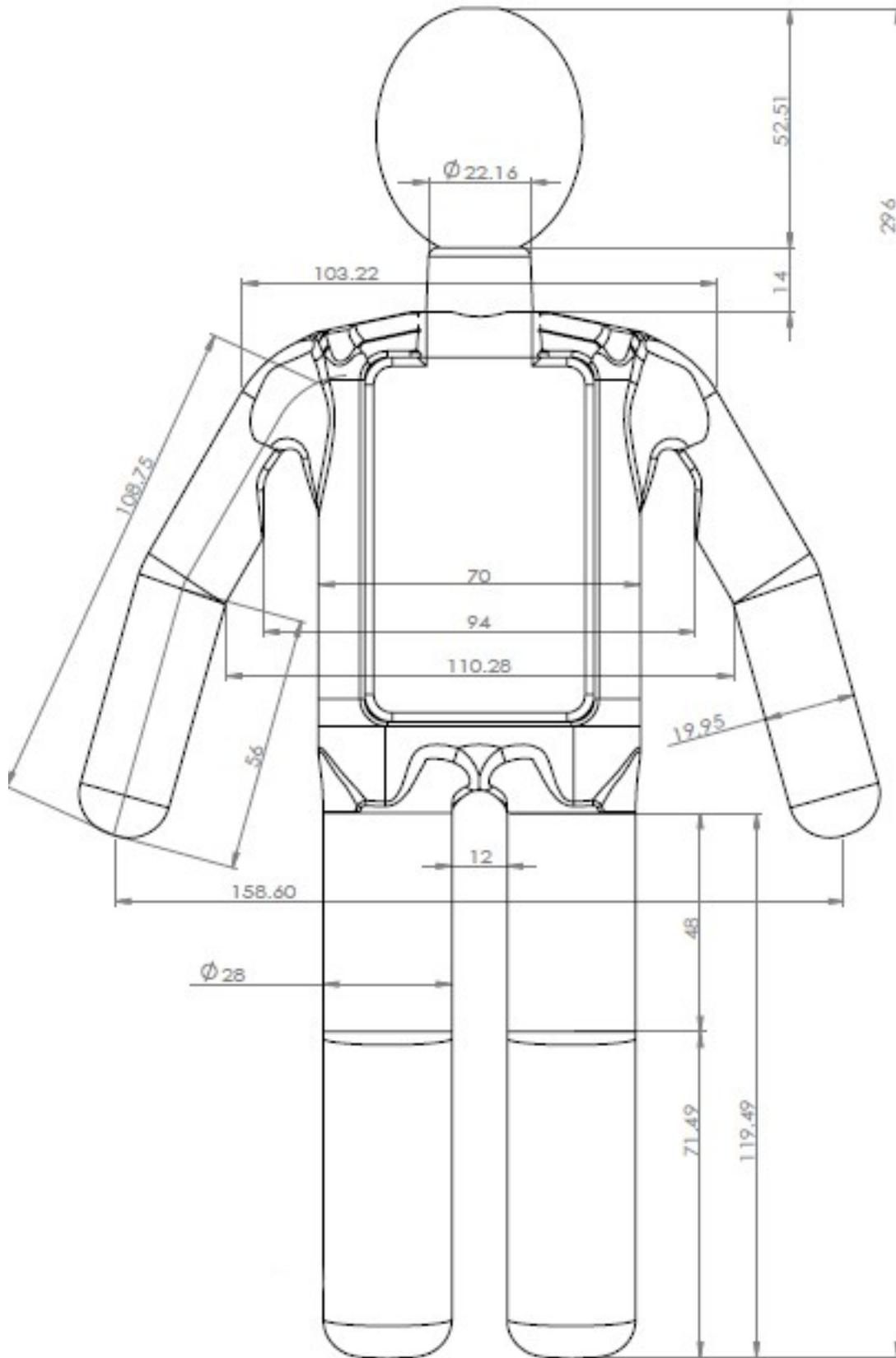
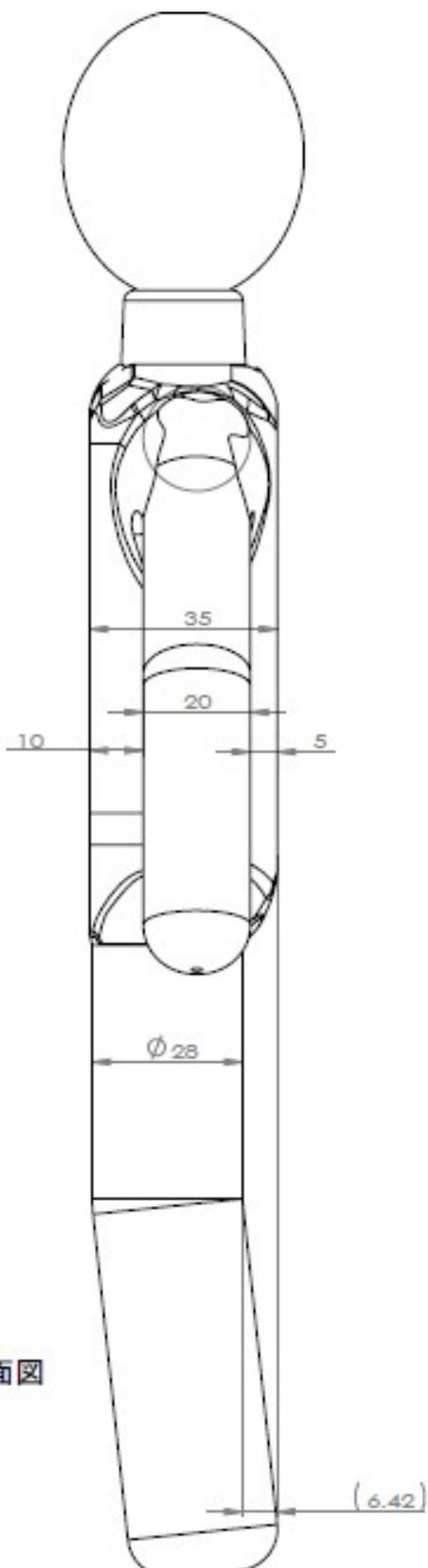


図 2.2 ダミヤン大の寸法 (正面図)



ダミヤン (大) 左側面図

図 2.3 ダミヤン大の寸法 (左側面図)

## 2.2 大ダミヤンの寸法

以下に小ダミヤンの寸法を示す。(手作業で製作するため数 mm 程度の誤差はあるが, 大幅なサイズ変更は行わないものとする。)

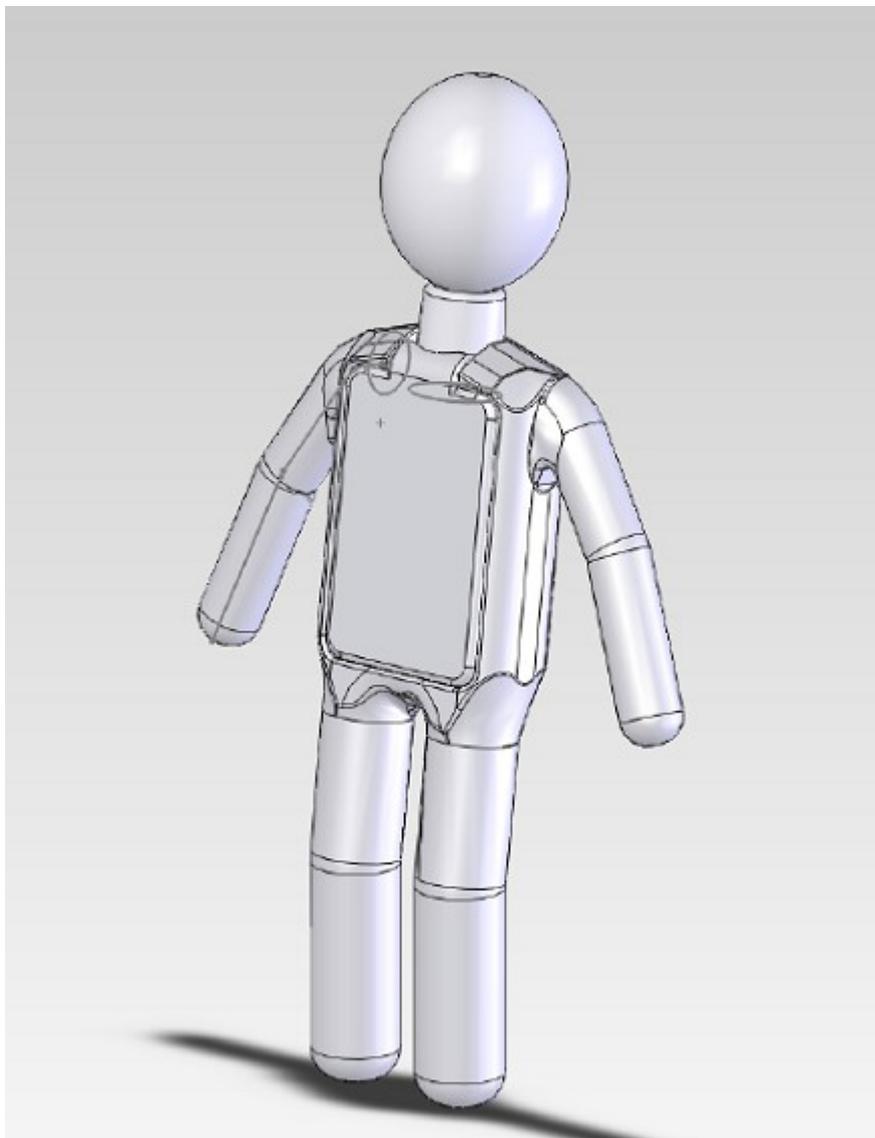


図 2.4 ダミヤン小投影図

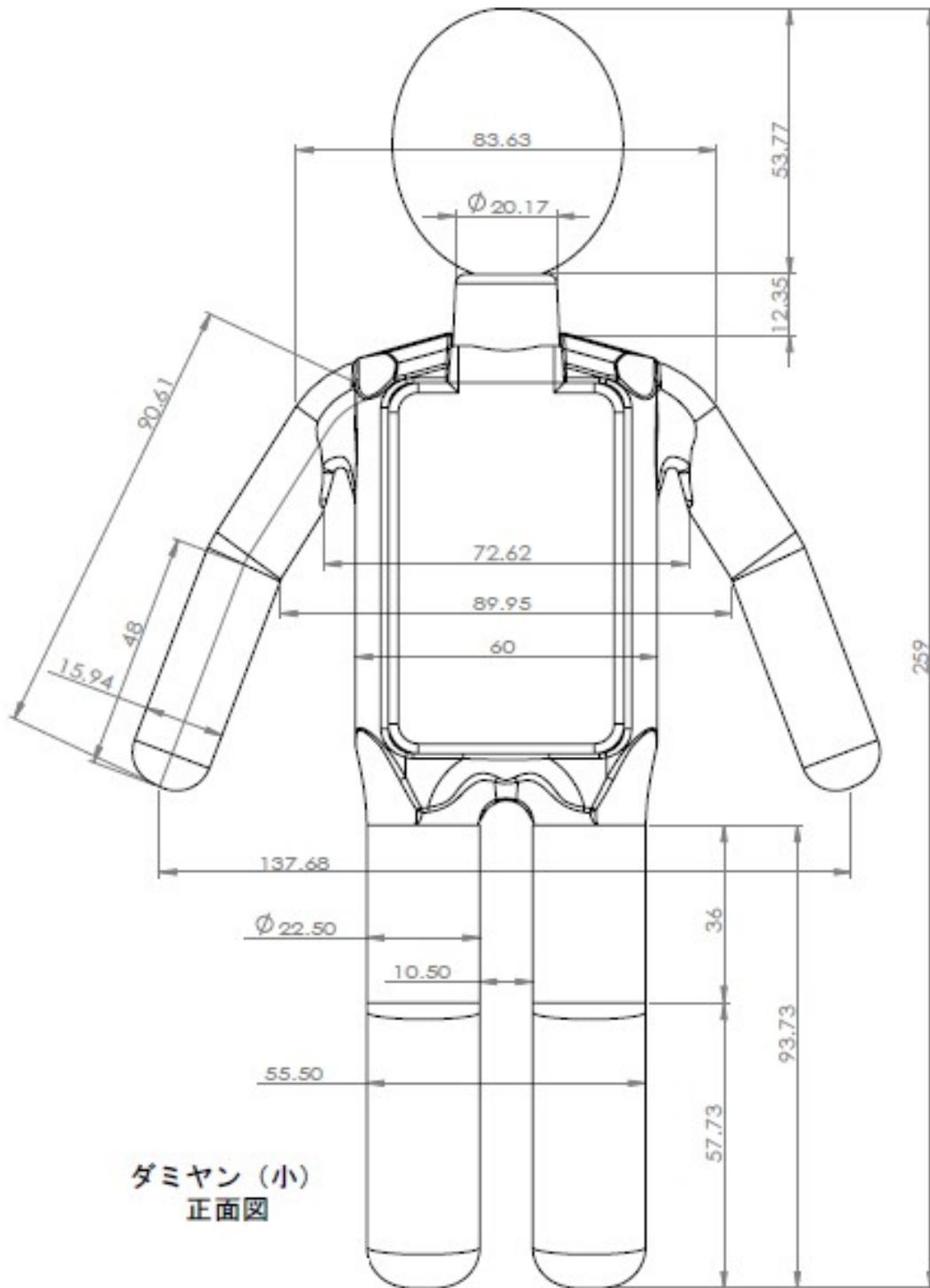


図 2.5 ダミヤン小の寸法 (正面図)

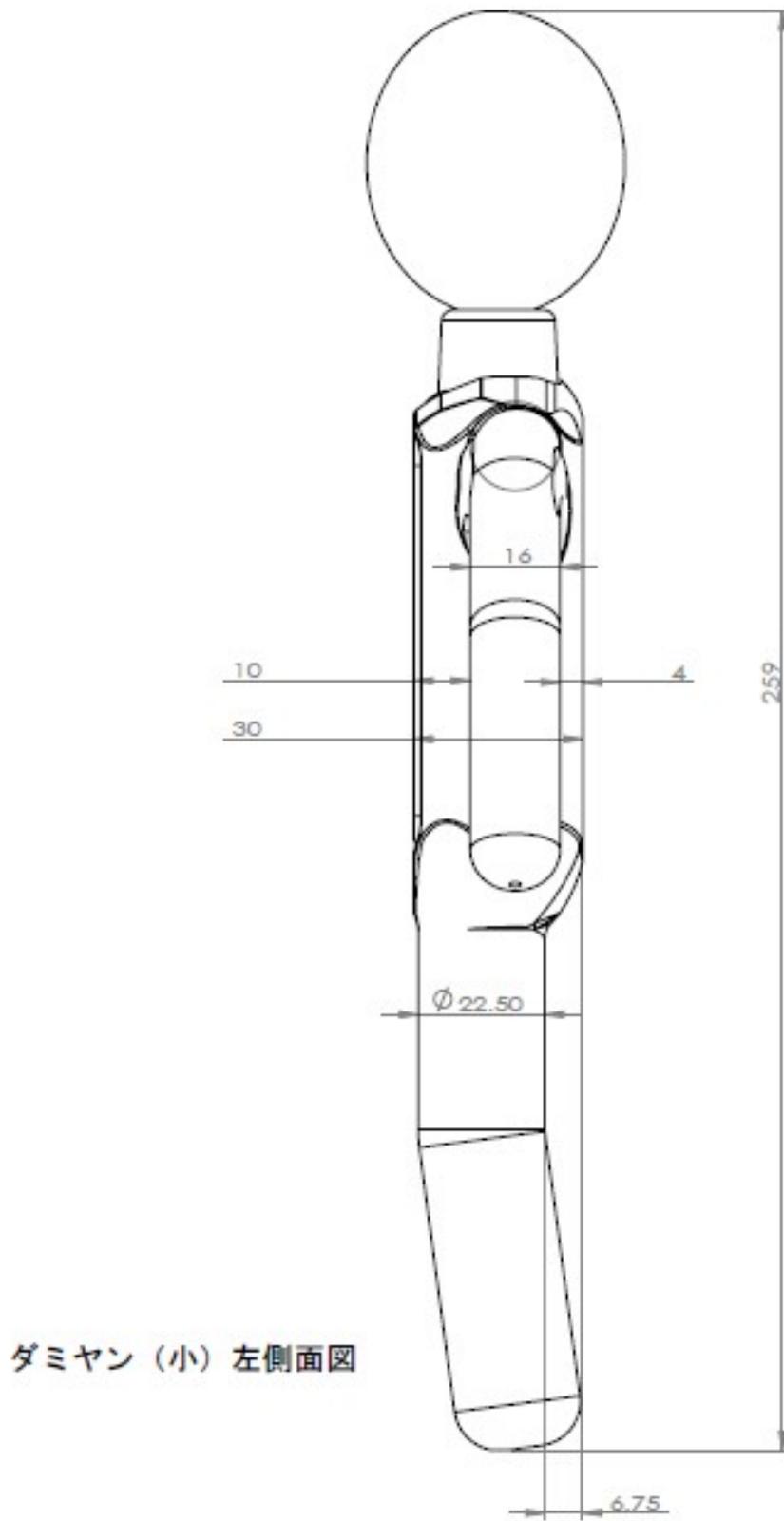


図 2.6 ダミヤン小の寸法 (左側面図)

### 2.3. ダミヤンの材質

ダミヤンの各部の材質を以下に記す。

- ボディ：発泡スポンジ
- ボディ表面：シリコン
- 手足の錘：真鍮
- 胴体の錘：鉛、真鍮を重量に応じて調整
- 頭部：プラスチック
- 頭部の錘：真鍮
- 首：ポリウレタン樹脂